

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

市が法人に求める役割

○ 大阪港における物流の安定・効率性の確保と大阪港の発展への寄与

- ・大阪港の物流機能を支えるトラックターミナル等の安定的な運営

○ 本市所有株式売却の実現に向けた経営の安定と鉄道事業の在り方の検討

- ・大阪市と連携し、臨海部開発に資する交通ネットワークの構築

対応方針

1. 企業価値の向上

企業価値を高めるため、株主及び顧客の満足度向上に努める。

2. 経営基盤の強化及び事業の選択と集中

経営資源の質の向上と経営基盤等の強化を図るため、事業の選択と集中を更に高める。

3. 賃貸資産の魅力向上

既存施設の計画的な大規模改修により、機能の維持及び向上を図り、効率的かつ経済的な新規設備投資を実施する。

戦略目標

①企業価値の向上

- ・株主への利益還元(復配)
【優先30円普通10円(H29年度実績)→優先30円普通10円(H30年度目標)】
- ・顧客定着率の確保
【97.5%(H29年度見込)→H29年度からH31年度の3ヶ年平均で90%以上を確保】

②経営基盤の強化及び事業の選択と集中

- ・売上高経常利益率(ROS)の向上
【39%(H29年度見込)→H31年度までに35%以上を確保】
- ・賃貸事業用地の取得
【0㎡(H29年度見込)→84,000㎡(H30、H31年度目標)】

③賃貸資産の魅力向上

- ・戦略的な投資による施設整備
【0.4億円(H29年度見込)→4億円(H29～H31年度目標)】

【参考:中期経営計画の目標値】

様 式 2

中期経営計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

○中期経営計画の概要

中 期 ビ ジ ョ ン (団体が目指す 中期の到達点)	企業価値を高める施策を複数実施し、株主及び顧客の満足度向上を図る。 事業の選択と集中を更に高め、賃貸資産の魅力向上、資産の有効活用を図る。		
中期経営計画名称 (計画期間)	中期経営計画(H29年度～H31年度)	公表先URL	http://www.opts.co.jp

○最終年度の到達目標

戦 略	成果測定指標	単 位	最終年度の 到達目標	目標達成のための活動事項
企業価値の向上	株主への利益還元 (復配)	円	優先株30 普通株10	精度の高い収支計画及び資金計画の 策定
	顧客定着率	%	<u>平均90以上</u>	既存顧客との良好な関係を継続的に 築くと共に、新規顧客のニーズを的確 に把握し、施設満足度を高める
経営基盤の強化及 び事業の選択と集 中	売上高経常利益率 (ROS)の向上	%	<u>35以上</u>	資産の有効利用による収益の向上及 びより効果的な経費の削減
	事業用地の取得	m ²	<u>84,000</u>	賃貸人との協議による売買条件の決定
賃貸資産の魅力向 上	戦略的な投資	億 円	4	既存顧客の退去を防ぐため、顧客の業 務を極力妨げ無い工事手法の検討及 び顧客ニーズの的確な把握

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
企業価値の向上	株主への利益還元 (復配)	円	優先株30 普通株10	優先株30 普通株10	定款及び資金計画における期末キャッシュフロー
	顧客定着率	%	<u>97.5</u>	90以上	$100 - \{ \text{年度内解約面積} \div (\text{H30.4期首稼働面積} + \text{新規契約面積}) \} \times 100$ (H29年度97.5%見込)

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
経営基盤の強化及び事業の選択と集中	売上高経常利益率 (ROS)の向上	%	<u>32.1</u>	<u>32.1</u>	経常損益 ÷ 売上高 × 100 ・H29年度(39%見込) ・H24～H28年度平均(32.3%)

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
経営基盤の強化及び事業の選択と集中	事業用地の取得	m ²	<u>42,000</u>	<u>42,000</u>	29年度未取得のトラクタターミナル用地における賃借面積
賃貸資産の魅力向上	戦略的な投資	億円	<u>2.28</u>	1.44	中期修繕計画(修正)に基づく(29年度予定工事繰り越し分含む)

様式 3

平成30年度経営目標設定表

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

○中期経営計画の概要

団体経営者の考え (H30の課題と重点目標)	中期経営計画(H29～H31年度)に基づき、経営基盤の強化、経営効率の向上を継続して図るとともに、顧客満足度の向上をめざし、様々なステークホルダーに対し利益をもたらすことを目標としている。
---------------------------	--

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
企業価値の向上	株主への利益還元(復配)	円	0	優先30 普通10	優先30 普通10	20	同じ	精度の高い収支計画及び資金計画の策定
	顧客定着率	%	89.7	<u>97.5</u>	<u>97.5</u>	20	同じ	既存顧客との良好な関係を継続的に築くと共に、新規顧客のニーズを的確に把握し、施設満足度を高める

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
経営基盤の強化及び事業の選択と集中	売上高経常利益率(ROS)の向上	%	<u>28.4</u>	<u>39.0</u>	<u>32.1</u>	20	低い	資産の有効利用による収益の向上及びより効果的な経費の削減

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
経営基盤の強化及び事業の選択と集中	事業用地の取得	m ²	10,010	0	<u>42,000</u>	20	高い	賃貸人との協議による売買条件の決定
賃貸資産の魅力向上	戦略的な投資	億円	0	<u>0.40</u>	<u>2.28</u>	20	高い	既存顧客の退去を防ぐため、顧客の業務を極力妨げ無い工事手法の検討及び顧客ニーズの的確な把握

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

経営目標①

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
1. CS、事業効果	企業価値の向上	株主への利益還元 (復配)	円	0	優先30 普通10	優先30 普通10	20	同じ

前年度実績より高い目標を設定できない理由	配当は、長期的な経営計画に基づき安定的におこなうものであり、損益に大幅な変動が無いと想定される場合、配当額の変更はおこなわない。 (30年度損益は29年度と比べて悪化する見込みであるが同額配当をおこなう)
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----

経営目標②

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
1. CS、事業効果	企業価値の向上	顧客定着率	%	89.7	97.5	97.5	20	同じ

前年度実績より高い目標を設定できない理由	当社全施設での入居率は約97%であり、顧客定着率98%はほぼ空き施設が無い状況である。また、お盆や年末年始等の繁忙期における一時的な施設需要に対応するため、100%の顧客定着率確保は不可能である。
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

経営目標③

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

視 点	戦略目標	成果測定指標	単 位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
2. 財務、効率性	経営基盤の強化 及び事業の選択 と集中	売上高経常利益 率(ROS)の向上	%	28.4	39.0	32.1	20	低い

前年度実績より高い目標を設定できない理由	【理由】 ・30年度単体費用の発生がROSの減少要因となるため ・29年度費用の30年度への繰越しがROSの増加要因となるため (2期平均では目標の35%を達成予定) 【内容】 ・30年度土地取得に伴う各種税金(登録免許税等) ・29年度予定工事の延期(利用者との日程調整や仕様変更による)
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----

補足説明資料2

成果測定指標の変更(廃止)理由について

団 体 名	(株)大阪港トランスポートシステム	所 管 局 名	港湾局
-------	-------------------	---------	-----

経営目標①

廃止

平成29年度経営目標

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H27 実績	H28 実績	H29 実績	ウェイト	変更(廃止)理由
2. 財務、効率性	経営基盤の強化 及び事業の選択 と集中	事業用地の売却	区 画	0	1	1	15	売却用事業資産を 平成29年度に全て 売却したため



平成30年度経営目標

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト